

なぜ、私たちはこんなにもこの仕事が好きなのか - 出版社が求める将来の人材・出版社が創り出す将来の読者 -



(昨年度の様子より)

日時：2016年11月12日（土）13：30～16：00

会場：武庫川女子大学 中央図書館2階グローバル・スタジオ

第1部「講演会」

13：30～14：50

日本を代表する出版社5社(筑摩書房、東京創元社、平凡社、あかね書房、柏書房)の社長によるリレー講演会。

各社の出版物の特長を伺うとともに、出版と流通の仕組み、編集や営業の仕事、出版社と図書館の関係とは？といったテーマを柱に、出版社の現場から最新の情報をお届けします。

第2部「学生×出版社」

15：00～16：00

京阪神間の大学7校の代表学生と出版社5社の社長によるトークセッション。出版社が求める人材とは？活字文化の行く末は？学生からの質問にプロが直接回答します。

<参加7大学>

大阪芸術大学/京都産業大学/近畿大学/神戸女学院大学/武庫川女子大学/桃山学院大学/立命館大学

観覧をご希望の方は、件名を「観覧申込み」とし、メール本文にお名前、所属を入力の上、libinfo@mukogawa-u.ac.jp まで送信してください。(11/10締切)

<問い合わせ> TEL 0798-45-3532 武庫川女子大学附属図書館

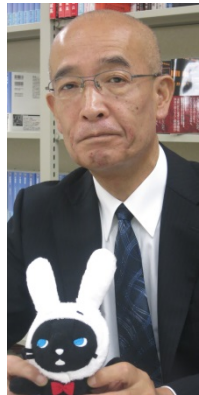


【総合司会】筑摩書房 顧問・柏書房 取締役

■菊池明郎 Akio KIKUCHI

「ロングセラーからベストセラーも生まれる！」

1978年に倒産した筑摩書房を立て直し、代表取締役社長・会長として14年間先頭に立ち、出版不況が続く中、会社を発展させた手腕はリアルな伝説として業界で話題に。また、出版社の営業とは何たるかを徹底的に考え続けた。「業界の生き字引」と言われるほどその変遷に関わり、業界を牽引。営業・編集の枠を超えて慕う人間は後を絶たない。



【パネラー】東京創元社 代表取締役社長

■長谷川晋一 Shin'ichi HASEGAWA

「エンタメとことん追求しています！」

1977年東京創元社に入社し編集部へ配属。以後20数年にわたり翻訳書担当を務め、さらに製作・広告宣伝・装幀関係の仕事を兼務ののち、1997年に取締役出版部長、2001年に代表取締役社長に就任。かつては「長谷川並一」名義で漫画執筆、著作活動も。長谷川社長の名言「生まれ変わっても、またこの東京創元社に入社することでしょう。たぶん、きっと。」



【パネラー】平凡社 代表取締役社長

■下中美都 Mito SHIMONAKA

「本は知恵とセンスの宝箱。一生夢中になれる仕事です」

1914年創業、昨年100周年を迎えた年に6代目社長に就任。創業者 下中弥三郎氏の孫。文化出版局の編集者を経て1995年平凡社に入社。平凡社の「百科事典」は全国の家庭の書棚を埋め尽くしたことでも有名。日本初のグラフィック誌「太陽」やムックの先駆けである「別冊太陽」、「東洋文庫全875巻」など、「名前は平凡でも作るものは非凡かも」。



【パネラー】あかね書房 代表取締役社長

■岡本光晴 Mitsuharu OKAMOTO

「手に取って理解できる絵本の魅力。その場を広げたい！」

1949年、祖父 岡本睦人が創業。1996年入社し営業部へ配属。書店店頭や小・中学校の学校図書館への営業を担当。2004年専務取締役を経て、2013年に3代目社長に就任。創業以来、子どもの本の出版活動を続けている。『ふらいぱんじいさん』『きいろいばけつ』などの幼年童話、『科学のアルバム』シリーズなど、「子どもも大人も楽しめる」本を幅広く出版。



【パネラー】柏書房 代表取締役社長

■富澤凡子 Hiroko TOMIZAWA

「復刻の面白さをわかってたまるか！」

1970年設立、富澤社長が6代目。新卒後パルコ出版に入社、アスペクト、西村書店、三五館、文芸社と、5社の編集と営業を往還しながら渡り歩く。復刻資料集・古文書関連本と歴史の本を中心に、翻訳、文芸、実用書など多様な書籍を刊行。「復刻にはさまざまな知識の原点がある！」は持論。「専門書の面白さを伝えることこそが醍醐味」とは自負。